

2016.10.16

21期第6回麻雀大会結果

	氏名	一回戦			二回戦			三回戦			合計	
		卓番号	勝点	点数	卓番号	勝点	点数	卓番号	勝点	点数	勝点	点数
1	和田	B	4	53	A	2	0	A	6	23	12	76
2	大和	D	-1	4	B	4	29	B	6	34	9	59
3	山崎	C	6	38	A	4	11	A	-2	-8	8	41
4	森田(秀)	B	-2	24	D	2	3	C	4	32	4	4
5	今川	D	6	38	A	-2	-10	A	-1	-1	3	27
6	井上	A	-1	-6	B	2	3	C	2	8	3	6
7	中松	C	-2	-12	C	6	30	A	-3	-14	1	7
8	梅村	C	-3	-18	D	-2	-12	D	6	18	1	8
9	吉相	A	-3	-13	D	4	26	B	-1	0	0	13
10	別所	A	6	29	A	-4	-7	B	-3	-20	-1	-1
11	堺井	B	2	3	B	-2	-8	B	-2	-14	-2	1
12	森口	A	-2	-10	C	-2	-15	D	-1	-1	-6	-26
13	池内	D	-2	-15	C	-2	-9	C	-2	-12	-6	-36
14	山田	D	-1	-19	C	-1	-6	C	-4	-28	-6	-53
15	田中	C	-1	-8	B	-4	-24	D	-3	-12	-8	-44
16	水本	B	-2	-32	D	-4	-17	D	-2	-5	-8	-54

※ 女性はハンデ2をプラス

* 勝点計算

◇ゲーム終了時に1人だけ3万点以上の場合

①6点 ②-1点 ③-2点 ④-3点

◇ゲーム終了時に2人が3万点以上の場合

①4点 ②2点 ③-2点 ④-4点

◇ゲーム終了時に3人が3万点以上の場合

①3点 ②2点 ③1点 ④-6点

結果詳細は下記をご覧ください





高津21期第6回麻雀大会開催しました。（10月16日）

和田君が勝負強さを発揮

「逆転のわーちゃん」本領

第3戦の決勝卓。南の4局まで、私・今川が勝利に一番近い場所にいたと思っていた。いつものことながら、僅差の勝負。私の浮きはわずか900点。上がればAトップで優勝である。（筈であった）

北家（ペイチャ）の私に、なんと北が対子（トイツ）で、二向聴（リャンシャンテン）の配牌（ハイパイ）で入った。第一自摸（ツモ）で一向聴（イーシャンテン）となり「この勝負、もらった」の思いが過った。

ところが、待てども待てども北（ペイ）が出ない。聴牌（テンパイ）をした時は、中盤となっていた。待ちは、東（トン）と北（ペイ）のシャンポンである（東と北が2枚ずつあって、どちらが出ても上がりの形）。カンサキ（完全先付け）のルールなので、リーチをかけないと出上がることができない。

リーチ棒を出すと、100点沈んでしまう。誰かが誰かに打ったら、他者がAトップになってしまう。流れれば、私のAトップである。ならば黙って押し続けるしかない。

私の微かな期待も、対面（トイメン）の「自摸(ツモ)！」の声に、いとも簡単にかき消されてしまった。和田君の優勝である。

過去の大会でもその安定感、大崩れのない打ち回しは、「そろそろ和田君」の予感を感じさせていた。準決勝卓、決勝卓、ともに東の一局に躓きながら、最後の最後に差してきたのは立派の一語である。「逆転のわーちゃん」暫くこう呼ばれることだろう。

2位には、B卓Aトップで貫禄を示した大和君。3位は、初参戦ながら、見せ場十分の打ち回しを見せた山崎君が入った。

私・今川が、優勝に一番近い場所にいたというのは、実は間違いであったことが、集計をしている時に、発覚した。準決勝卓、私は-10で4位、別所君が-7で3位で、決勝卓へは別所君が坐らなければならなかった。ところが、どういう訳か、私が座っていた。もし私がA卓でAトップなら勝ち点が8点となり、B卓の大和君が逆転優勝ということになっていた。

私が上がらなくてよかった？ いえ、疑惑があっても、私は「優勝」の二文字を譲るつもりはないが？

★メゾンアッシュドウ→ [Google ストリートビュー](#)